

歷史散步



河芸公民館の道標と里程標

河芸公民館には、伊勢街道の道標と上野村(現在 の河芸町上野)に建っていた里程標が保管されてい

公民館の庭に建つ道標は石製の角柱で、「右し ろこかいたう| 「左かんへちかみち| 「元禄三庚 午年三月吉日 野町中」と刻まれ、元禄3(1690) 年に野町(現在の鈴鹿市野町)の人々によって建て られたものであることが分かります。元は、伊勢 街道の宿場町の一つだった上野宿に入る手前、田

中川に架かる大蔵橋北 の三差路に建っていま した。伊勢街道は、四 日市市の日永の追分で 東海道から分かれ伊勢 へと向かう街道で、日 永から神戸宿、白子宿 を経て、上野宿へと至 ります。現在この地に 道標が建っていたこと



道標

を示すものはありませんが、かつてはこの道標が 白子を通る伊勢街道とは別に、野町を経由して神 戸と上野を結ぶ近道を案内していました。

また、河芸公民館の中庭に建つ里程標は木製の 角柱で、木枠で固定されています。里程標とは、 道路元標や市町村との距離を記した標識のこと で、正面に「白子町へ壹里参拾壹町九間 上野 村」、側面に「距津市元標貳里拾六町四拾参間」 「距伊勢國桑名郡長島村管轄境拾壹里拾六町四拾 五間」、裏側に「大正二年三月 三重県」と刻まれ





里程標

里程標跡地に建つ石柱

ています。この里程標は大正2(1913)年に伊勢街 道沿いに建てられたものでしたが、傷みが進み、 河芸公民館に保管されることになりました。撤去 した跡地には、「道路元標跡」と刻まれた石柱が 建てられています。

かつては伊勢参宮でにぎわった上野宿。古今の 移り変わりに思いをはせながら、伊勢街道と宿場 の面影を訪ねてみてはいかがでしょうか。



広告掲載



広報つ!

毎月1日・16日発行

●編集·発行 津市政策財務部広報課 T514-8611 西丸之内23-1

Q059-229-3111 M059-229-3339

寿印刷工業株式会社